

〔 2022 年度 〕

繊維製品品質管理士試験

〔Ⅲ〕 家庭用繊維製品の流通、消費と 消費者問題に関する知識

◆注 意◆

1. 問題は開始の合図があるまで開かないでください。
2. 開始とともに、解答用紙に氏名と、受験番号（4ケタ）、その下の受験番号の数字をマークしてください。
3. 解答用紙は、書き損じても再交付しません。
4. 印刷が不鮮明な場合は申し出てください。ただし、問題に関する質問は一切受け付けません。
5. 解答を書き終えても、また、試験放棄しても試験が終わるまで退室できません。
トイレに行きたくなった場合、あるいは気分が悪くなった場合は、手をあげて監督者に申し出て
ください。
6. 試験終了後は、指示があるまで着席のまま待機してください。
7. 試験中、顔写真と照合のため監督者が回ってきたときには、マスクを外して顔をあげてください。
8. 試験会場内は禁煙です。

問1 次のA～Iの文で、①②の両方が正しい場合には『1』、①②いずれかが誤っている場合には『2』、①②の両方が誤っている場合には『3』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. ①「購買行動の情報処理モデル」を提唱したのはJ.グッドマンである。
②「欲求の階層理論」を提唱したのはA.H.マズローである。
- B. ①価格帯を第一に考慮し、その範囲内で最適なものを選択する主観的評価方法を「安心型」という。
②社会的な制約に従い、周囲の目を気にして服装を選ぶ主観的評価方法を「社会型」という。
- C. ①態度とは、商品に対する主観的な感情のことである。
②態度の変容原因の一つとして「認知的不協和」がある。
- D. ①日本の家計調査によると、支出構成比において光熱・水道費は2010年以降増加傾向にある。
②日本の家計調査によると、支出構成比において被服・履物費は2000年以降減少傾向が続いている。
- E. ①1985年から2016年までに「婦人スラックス」の品目ではジーンズが増え、価格は低下し、購入数量が増えた。
②1985年から2016年までに「男子ズボン」の品目は価格が低下し、購入数量も大幅に低下した。
- F. ①標本抽出法の1つである系統抽出法の長所は、調査データのばらつきが小さいことである。
②標本抽出法の1つである層別抽出法では、各層ごとにクォータ法で標本抽出を行う。
- G. ①プリテストの自由回答の結果に基づいて、アフターコーディングを行う。
②プリテストの調査結果に基づいて、本調査の標本数決定の参考にする。
- H. ①エディティングでは、フリーアンサーを記号化することがある。
②エディティングでは、不真面目な回答を集計対象から除くことがある。
- I. ①電話調査法で用いるRDD法は、標本抽出法の観点からは精度の高い調査法とはいえない。
②電話調査法は、説明しながら質問を行えるので、複雑な質問でも容易に行える。

問2 次のI～Xの文中の（ ）内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- I. 集団が持つ規範や、時代とともに変化する流行の影響など、他人や集団から受ける影響を（ A ）要因という。
（1. 心理的 2. 社会的 3. 経済的）
- II. 商品の評価における客観的評価方法のうち、一部の特徴のある特性だけを考慮する選択方法を（ B ）と呼ぶ。
（1. 特徴型 2. 非補償型 3. 補償型）
- III. スタンフォード調査研究所が開発したライフスタイル分析を（ C ）という。
（1. VALS 2. RRB 3. LPS）
- IV. 消費支出の中の費目別支出比率を（ D ）という。
（1. エンゲル係数 2. 支出分類比 3. ジニ係数 4. 支出構成比）
- V. 経済原則と反対の動きをする品目を（ E ）という。
（1. 特殊財 2. 必需財 3. 選択財 4. 上昇財）
- VI. 回答形式の一つで、回答選択肢のすべてについてA・B・Cなどのカテゴリーで答える形式を（ F ）という。
（1. 配分法 2. 分類法 3. 摘出法 4. 分配法）
- VII. 回答形式の一つで、回答選択肢それぞれに持ち点を与えた回答方法を（ G ）という。
（1. 評定尺度法 2. チェックリスト法 3. 数値分配法 4. 持ち点分類法）
- VIII. 質問紙調査で、不真面目な回答をチェックするために（ H ）を用いることがある。
（1. 誘導質問 2. 自由記述質問 3. ダブルバーレル質問 4. ダミー質問）
- IX. 回答選択肢の中から1つだけ選んで回答する場合を単一選択、当てはまるものすべてを選ぶ場合を（ I ）という。
（1. 自由選択 2. 多項選択 3. 全数選択）
- X. 調査データの集計結果で、衣料の年間購入金額などの連続値を適当な階級に分けて作成するグラフは（ J ）である。
（1. 帯グラフ 2. ヒストグラム 3. レーダーチャート 4. 折れ線グラフ）

問3 次のⅠ～Ⅱの文中の（ ）内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

Ⅰ. 消費性向の変化を見ると、1972年までは、経済の高度成長により所得の上昇が続いて消費性向は（ A ）したが、（ B ）年秋の第一次オイルショックで、経済成長がストップして国民生活は苦しくなり、消費性向は（ C ）した。

[語群]

1. 上昇 2. 1991 3. 低下 4. 1979 5. 停滞 6. 1973

Ⅱ. 無作為抽出法とは、（ D ）に含まれる全構成要素の抽出される（ E ）が等しくなるように工夫された抽出法である。この抽出法では（ F ）を推定することが可能である。

[語群]

1. 確率 2. 標本 3. 標本誤差 4. 頻度 5. 母集団 6. 標準偏差

問4 次のA～Eの文にあてはまる最も適当なものを語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

A. 経済が高度成長するとともに、社会問題化した消費者問題に対し、消費者団体の積極的な活動に対応する形で1968年に制定された法律。「消費者の権利の尊重」と「消費者の自立支援」を基本理念としている。

B. 商品の安全性を確保するために1994年に定められた民事ルール。製造物の欠陥が原因で他人の生命・身体・財産に損害が生じた場合、製造業者等に損害賠償責任を負わせる法律

C. 消費者と事業者との間の情報の質及び量並びに交渉力に格差があることを明示した2000年に制定された法律。消費者契約について、不当な勧誘による契約の取消しと不当な契約条項の無効等を規定している。

D. 2004年に制定され、基本理念として、消費者の権利の尊重、消費者の自立、その支援などが規定された法律。国民の消費生活の安定及び向上を確保することを目的としている。

E. 消費者の消費生活における被害を防止し、その安全を確保するため、内閣総理大臣による基本方針の策定、消費者センターの設置、消費者事故等に関する情報の集約等、消費者被害の発生又は拡大の防止のための措置等所要の措置を講ずることを定め、2009年に制定された法律

[語 群]

1. 消費者保護基本法
2. 消費者安全法
3. 消費者教育の推進に関する法律
4. 消費者基本法
5. 消費生活用製品安全法
6. 消費者契約法
7. 金融商品の販売に関する法律
8. 製造物責任法
9. 特定商取引に関する法律

問5 次のⅠ～Ⅳの文中の（ ）内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

Ⅰ. 行政規制のうち認可の停止または取り消しをおこなうものを（ A ）と呼び、消費者に被害が及ばないように国の責任において販売を規制するものを（ B ）と呼ぶ。

[語 群]

1. 商品規制
2. 刑事規制
3. 間接規制
4. 業者規制

Ⅱ. 訪問販売法では（ C ）が定められている。また、独占禁止法では（ D ）が定められている。

[語 群]

1. 不当表示の防止
2. 消費者取引の適正化
3. 事業者の公正な競争の確保
4. 重大事故の報告

Ⅲ. 2022年（令和4年）6月、公益通報者保護法の一部が改正された。事業者の法令違反行為を（ E ）が通報した場合、（ F ）等の不利益な取扱いから通報者を保護するルールが明確化されている。今改正では、事業者側にも対応体制の整備が追加され、より（ G ）の強化と社会的信用の向上が期待される。

[語 群]

1. 消費者
2. 労働者
3. マスメディア
4. 情報セキュリティ
5. 不買
6. サステナビリティ経営
7. コンプライアンス経営
8. 解雇
9. 行政指導

Ⅳ. 2017年（平成29年）、帽子が繊維製品品質表示規程の対象品目となった。表示事項は東京都消費生活条例で義務付けられていた「表生地繊維の組成」、「（ H ）」、「表示者名」への表示者の連絡先が追加された。表示者の連絡先は「（ I ）または電話番号」と決められている。なお（ J ）は認められている。

[語 群]

1. 取扱い方法
2. はっ水性
3. サイズ
4. 住所
5. ホームページのURL
6. メールアドレス
7. フリーダイヤル

問6 次のA～Jの文にあてはまる最も関係が深いものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- A. 現在、繊維製品品質表示規程の指定用語の分類名として適切でないもの
(1. 半合成繊維 2. 無機繊維 3. 指定外繊維 4. 分類外繊維)
- B. 繊維製品に表示した以下の表現のうち、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に抵触する恐れのある表示
(1. 着圧効果で脚がきれいに見える 2. 保湿加工でお肌しっとり
3. 繊維にビタミンCを加工)
- C. 不当景品類及び不当表示防止法において、不当表示の抑止力を高める手段として導入された消費者庁が事業者から不当表示による売上げの一部を徴収する制度
(1. 課徴金制度 2. 追徴金制度 3. 罰金制度 4. 納付命令)
- D. 不当景品類及び不当表示防止法において、優良誤認に該当する事例
(1. カシミア100%のセータを「毛100%」と表示して販売した。
2. イギリス製の生地を使用して中国で生産したので、「中国製」の表示の他に「イギリス製生地使用」と表示して販売した。
3. カシミア97%のセータを「カシミア100%」として販売した。
4. ベトナム製のズボンを日本製と表示して販売した。)
- E. 製造物である繊維製品において、製造物責任法に該当する恐れのある事例
(1. 表面フラッシュの炎に驚き、熱湯の入った鍋をひっくり返しやけどをした。
2. シャがんだ時に、スラックスのお尻の縫い目が破れ、恥ずかしい思いをした。
3. 布製バッグの持ち手の片方が切れた。バッグの中身は無事だったが、外出中だったので新しいバッグを購入した。
4. カシミア100%のコートが保管中に虫害による穴あきが発生、着用できなくなってしまった。)
- F. 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律におけるホルムアルデヒドの規制について、対象繊維製品ではないもの（いずれも生後24か月以内の乳幼児用の製品以外とする。）
(1. ブラウス 2. 下着 3. 寝衣 4. 手袋)
- G. 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律における特定芳香族アミンの規制について、繊維業界ですすめられている方策
(1. 生産工程の代表ロットの「分析証明書」を確認するトレーサビリティ制度
2. 生産工程での全数検査制度
3. 生産工程で使用していないことを確認するトレーサビリティ制度
4. 製品での全数検査制度)

H. 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律における特定芳香族アミンの規制について、対象品となるアイテム

- (1. 帽子 2. 靴 3. かばん 4. 時計バンド)

I. 消費者基本法が尊重する消費者の権利（第2条）として、正しくないもの

- (1. 安全が確保されること 2. 必要な情報が提供されること
3. 消費者被害が救済されること 4. 知的財産が共有されること)

J. 限定セールスの期間が過ぎても、広告の表示価格のまま販売を継続するなど、取引条件に関して措置命令を受ける可能性のある不当表示

- (1. 優良誤認 2. 優利誤認 3. 有利誤認 4. おとり広告)

問7 次のA～Iの文について、①②の両方が正しい場合には『1』、①②のいずれかが誤っている場合には『2』、①②の両方が誤っている場合には『3』を解答記入欄にマークしなさい。

A. ①1970年代から2000年にかけて日本のアパレルマーケットは、若者中心に焦点が当てられていた。

②現在の日本では、高齢者数が増加しているため、高齢者市場に大きな期待がかけられている。

B. ①1980年代後半に衣料品の輸入の伸び率が顕著になってくると、輸入品に求める需要は、布帛衣料からニット衣料に変化した。

②衣料品の輸入先としては、1987年を境にそれまでシェアの高かった中国にかわって、タイ、インドネシアなどの伸びが大きくなった。

C. ①日本のアパレル産業は、1970年代を境に、内需産業から輸出産業に大きく変化した。

②他の国の工場に生産させて、さらにその国から異なった国に輸出する方式は三国間貿易である。

D. ①日本の企業が自社の商品企画に基づいて、海外の生産企業に生産を委託し、輸入する方式を海外委託生産方式という。

②海外委託生産方式によって他の国で縫製したアパレルを日本製と表示することは、景品表示法違反（原産国の不当表示）とならない。

E. ①ユニバーサルファッションは、高齢者や障がい者向けに限定したファッション概念である。

②ユニバーサルファッションに、素材や製品の高機能性配慮が期待されている。

- F. ①SCM (サプライチェーンマネジメント) は、TA 間(テキスタイルとアパレル)におけるサプライチェーン構築が重要課題である。
②SCM 構築に設置した TA プロジェクトチームの重要な課題は「品質の問題」である。
- G. ①被服費係数(被服及び履物支出が消費支出に占める割合)は、1990 年以降、時とともに低下している。
②エンゲル係数は、1990 年以降、時とともに低下している。
- H. ①衣料品における IC タグ (RFID) の普及が進まない理由は、商品価格に比べ IC タグの単価がまだ高いことも影響している。
②店舗のセルフレジの普及に IC タグが役立っている。
- I. ①日本から輸入された原材料を用いて保税加工した製品に関し、すべて輸出することが義務付けられている。
②経済特区とは、外国の資本や技術の導入を目的に、自国内に設けた特別地域である。

問8 次の I～Xの文中の () 内に、最も適当なものを下記の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- I. インターネット、スマートフォンの普及により、メーカーは、自ら企画・製造し、実店舗を持たずに自社の EC サイトで直接消費者へ販売するビジネスモデルである (A) を行えるようになった。
(1. BtoB 2. CtoC 3. DtoC 4. OtoO)
- II. 海外のアパレル企業やデザイナーと一定地域に関する独占的・排他的な輸入・販売の契約を結び、発注・輸入する方式は、(B) といわれる。
(1. 並行輸入方式 2. 輸入総代理店方式 3. 買付け方式)
- III. 流通機能に関して、金融、危険負担(保険)、規格化・標準化などを(C) 機能と呼んでいる。
(1. 流通チャネル 2. 商流 3. 物流 4. 流通支援)
- IV. SCM では、IT を使った(D) が必要とされる。
(1. 情報共有 2. 取引の適正化 3. 競争力の強化 4. 取引先との協議)
- V. 同業種または同業態の小売企業が、それぞれの独立性を維持しながら連携し、仕入れ、輸入、商品開発、宣伝などを共同で行う組織を(E) という。
(1. フランチャイズチェーン 2. ボランタリーチェーン 3. サプライチェーン)

VI. 生産企業と小売企業との取引におけるグローバルスタンダードは、対等取引、下代仕入れ、オープンマーケット、(F) である。

- (1. 消化取引制 2. 委託制 3. 完全買取制 4. 返品条件付き買取制)

VII. 日本の繊維産業において、卸売業全体の売上高は、小売業全体の売上高に比べ (G) 。

- (1. 大きい 2. 同程度である 3. 小さい)

VIII. アパレルメーカーが飛躍した1970年代の発展は、(H) の発展と対にしている。

- (1. スーパー 2. コンビニ 3. ラグジュアリーブランド 4. 百貨店)

IX. 日本の衣料品の輸入において、2015年以降でASEANの中で数量・金額とも最多なのは(I) である。

- (1. インドネシア 2. カンボジア 3. バングラデシュ 4. ベトナム)

X. 日本の衣料品の輸入において、2015年以降でEUの中で数量・金額とも最多なのは(J) である。

- (1. イタリア 2. トルコ 3. フランス 4. ルーマニア)

問9 次のI～IIの文中の() 内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

I. 現在の成人衣料品の消費は、女性用が多い。それは(A) の家計調査の被服及び履物支出や(B) 統計の大型小売店の売上高にみることができる。この最大要因は女性の(C) である。

[語 群]



1. 内閣府 2. 経済産業省 3. 環境庁 4. 総務省
5. インバウンドの増加 6. 海外旅行の増加 7. 社会進出の進展

II. 複数の販売チャネルを活用する(D) の進化形であり、(E) とインターネット通販の境界をなくして相互乗り入れをするビジネスモデルを(F) という。

[語 群]

1. シングルチャネル 2. オムニチャネル 3. マルチチャネル 4. SNS
5. カタログ通販 6. テレビ通販 7. 訪問販売 8. 実店舗

問10 次のA～Jの文について、①②の両方が正しい場合には『1』、①②のいずれかが誤っている場合には『2』、①②の両方が誤っている場合には『3』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. ①布を弾性限度以上引き伸ばすと、力を除いても元に戻らなくなる。
②塑性変形は、形くずれの原因となる。
- B. ①ポリエステル、羊毛など、弾性回復率の大きな繊維を使用した製品は、シワになりにくい。
②弾性回復率が小さい繊維は、レーヨンや綿、麻である。
- C. ①界面活性剤は、油性汚れを乳化させる。
②界面活性剤は、除去された汚れを分散させる。
- D. ①漂白剤は、しみや汚れの色素を分解する。
②漂白剤には、塩素系、酸素系、水素系がある。
- E. ①過炭酸ナトリウムは、酸素系漂白剤である。
②次亜塩素酸ナトリウム漂白で、メラミン樹脂は黄変しにくい。
- F. ①JIS L 0001 において  の記号は、日陰での吊り干し乾燥を表す。
②JIS L 0001 において  の記号は、ドライクリーニング処理を表す。
- G. ①裏生地を分離して組成繊維を表示する場合、混用率の大きい繊維から順次列記することができる。
②一部の組成繊維について混用率の算定が困難な場合は、「不明」と表示できる。
- H. ①繊維の指定用語で、リネンとラミー以外の麻は「麻」と表示できない。
②トリアセテートは、アセテートと表示することができる。
- I. ①羊毛や絹は、日光で黄褐変する。
②ナイロンは、日光で変色しにくい。
- J. ①パークロロエチレンより石油系溶剤の方が、沸点が低い。
②石油系溶剤は、パークロロエチレンよりもKB値（油脂溶解力の指標）が高い。

問12 次の文中のA～Eの（ ）内に、最も適当なものを下記の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

JIS L 4004 に規定されている衣料のサイズ表示において、成人男子の体形区分表示は、（ A ）とウエストの差のドロップで表す。ドロップが12cmの体形は、（ B ）で表示される。また、身長は5cm単位で区分されており、5号は身長が（ C ）を表す。

JIS L 4005 に規定されている成人女子の体形区分表示では、バストに対する（ D ）の大きさで（ E ）に区分される。

[語 群]

- | | | | | |
|--------|---------|------------|-----------|-----------|
| 1. バスト | 2. チェスト | 3. ヒップ | 4. 着丈 | |
| 5. Y | 6. A | 7. B | 8. S | |
| 9. 6体型 | 10. 4体型 | 11. 160 cm | 12. 170cm | 13. 180cm |